

■「令和の里海づくり」モデル事業における取組

活動地域：岡山県内沿岸エリア

活動団体：岡山水産物流通促進協議会（おかと）

モデル事業概要	
採択年度	2022（令和4）年度
モデル事業	岡山の低・未利用「地魚」のブランディング・プロモーションにも活かせるアマモ場の保全・再生・創出等に係るリーフレットの制作と瀬戸内の里海を学び、体験し、瀬戸内の魚を食すエコツアーづくり。
背景	
地域の資源	<p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 瀬戸内海国立公園（東側エリア） ◇ 多種多様な水産資源と、それらを育む藻場・干潟 <p>【海産物・食】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 岡山ならではの豊かな魚食文化（ヒラ、ママカリ、ハモ、ベイカ等） <p>【歴史・文化・町並み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 独自の漁業景観（虫明湾のカキ筏、牛窓湾の段々畑とつぼ網漁、児島湾の水田と四つ手網漁）
地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 食文化の変化と岡山独自の魚食文化の継承。 ◇ 低・未利用魚の消費の減少による、供給と流通の停滞。 ◇ 藻場・干潟の減少。 ◇ 漁業者の減少。 ◇ 海域環境の変化（海の貧栄養化、温暖化等）と魚種の変化。 ◇ 漁業資源の回復に向けた遊漁への対策。
令和の里海づくり（保全と活用の好循環形成）	
好循環形成のビジョン	
<p>（保全）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 里海づくりの啓発・参加促進のための普及・啓発ツールとして、「アマモ場の役割」、「アマモ場再生の取組」、「アマモ場の生き物の紹介」を盛り込んだリーフレットを作成し、連携先を介して学校給食や子ども食堂等への配布、並びに販売店・飲食店等での配布を行う。 ◇ 他団体主催のアマモ場の保全活動等に参加する。 <p>（活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ おかとは、2021年から岡山県民への魚食普及、豊かな水産物の食文化を持つ岡山の魅力発信、ひいては安定した単価による需要から漁業者所得の向上などの活動を行うことにより、地域の活性化を図ることを目的に、岡山市場における低・未利用魚水産物の加工品開発と消 	

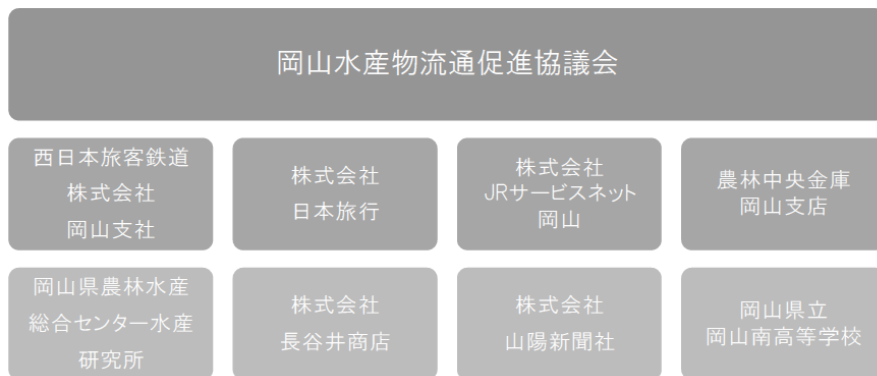
費拡大の取組みを行っている。

- ◇ 瀬戸内の里海を学び、体験し、瀬戸内の魚を食すエコツアーを検討、造成する。

(好循環形成・促進)

- ◇ 岡山の里海と食文化を同時に体験できるツアーを展開することで、漁業・魚食文化の保存・継承と地域経済の活性化、藻場・干潟保全活動への還元につなげ、保全と利活用の好循環を形成する。
- ◇ 運輸会社や旅行会社をはじめ様々な連携主体とツアーの内容を検証し、継続可能なツアーとする。
- ◇ 低・未利用魚を活用した加工品や地魚料理の開発・レシピの公開のほか、地魚の食文化についての情報発信することにより、地魚の消費拡大と地域経済の活性化を促す。

<連携イメージ>



作成：おかとと